

新設授業科目 改善策（開講科目名：学術交流英語）

担当教員名【杉峰英憲】

①カリキュラムの改善点、②シラバスの改善点、③授業形態の改善点、④配布資料の改善点、⑤学生への対応の改善点、⑥TAのあり方の改善点、⑦その他の改善点 などの観点項目を参考にご自由にお書きください。

① カリキュラムの改善点

本年度は2回の土曜日集中の授業として行い、1回目は英語によるプレゼンテーションやディスカッションの特質と、各自のプレゼンテーション内容の検討を行い、2回目は実際のプレゼンテーションならびにディスカッションを行った。結果、実際のプレゼンテーションでは、事前に検討すべき問題点が散在していたので、来年度からは、授業の資料を充実し、効率的に英語プレゼンテーションの特質を説明するとともに、プレゼンテーションの準備によりきめ細かな指導を行う必要がある。

② シラバスの改善点

英語のプレゼンテーションやディスカッションには一定の英語能力が必要であるので、この点をシラバスに明記する必要がある。

③ 授業形態の改善点

本年度は実験的な試行であったので、ゲストを私的にお願いしたが、ゲストの存在の意義は大きかった。次年度からは、ゲストを正式に位置づける必要がある。

プレゼンテーションでは、学生は原稿に頼りがちであるので、パワーポイントを利用した発表形態にする必要がある。

人数が少ない場合には、日本語によるサポートをしがちであるので、オブザーバーとして学部生や前期課程の学生の参加があった方がよいのではないと思われる。

④ 配付資料の改善点

配付資料を充実し、次年度は予習ができるように事前に配布する。

⑤ 学生への対応の改善点

受講には、一定の英語能力が必要であることを明記し、実質のレベルを引き上げるとともに、今年度の経験を踏まえて、facilitatorの役割をゲストとともにしっかりと果たす必要がある。

⑥ TAのあり方の改善点

本年度は適切なTAが見つからず、教室の助手に参加を依頼したが、次年度に向けては適切なTAを選考する。

⑦ その他の改善点

海外での発表を現実に予定している学生の参加を募りたいと考えている。